

受験番号

氏名

一、次の文章は、朝日新聞掲載の「天声人語」である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

長さが一定で改行のないこのコラムでは、句読点の置き方に制約がある。

字数があふれて削るテンもあれば、半端な位置のマルに A を焼く日もある。句点も読点も、B「筋纏ではいかない」。どの道にも専門家はいるもので、

たとえば群馬県高崎市の元高校教諭、大類雅敏さんは句読法を研究して四十年になる。『句読点活用辞典』など著作も多い。同学の士が集まると「モー

ニング娘。」の「C」は「D」などと議論に花が咲くそうだ。大類さんによると、西洋ではプラトンの昔から句読法が盛んに研究されてきた。コンマ、ピリオド、セミコロンの種類も多い。日本では紫式部のころには文章に

句読点がなかった。疑問符や感嘆符も江戸期の輸入品である。大類さんが句

読点にひかれたのは二十代後半、権田直助という幕末の学者の著作に接して

からだ。権田は神官にして医家で尊皇の志士でもあった。政治犯として D 幽

閉された明治初年、句読研究に没頭し、「国文にもきちんとした句読法を確

立せよ」と主張した。生家の跡が埼玉県毛呂山町にある。句読点といえは、

福島県猪苗代町の野口英世記念館で見た、母シカ自筆の手紙が忘れがたい。

「おまいの。しせ（出世）にわ。みなたまけました。」どうか帰国して下さ

れと英世に訴える書状だが、実物を見ると、マルの一つひとつが字ほどに大

きい。しかも行の隅でなく中央に置かれている。幼い頃に覚えた文字を思い

出してつづった手紙だという。テンも兼ねた大きなマルが、E 母親の 一途な

思いを伝える。F 句読点の結晶を見る思いがした。

問一、空欄Aに当てはまる語として最も適当なものを次のア～オから選び記号で答えなさい。

ア、肝 イ、世話 ウ、手 エ、腹 オ、心

問五、傍線部Eとはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次のア～オから選び記号で答えなさい。

問二、傍線部Bの説明として最も適当なものを次のア～オから選び記号で答えなさい。

ア、息子との再会にわずかな希望を託すこと  
イ、息子の帰国と出世を強く望むこと  
ウ、息子の帰国を司法に訴えようと決心すること  
エ、息子に会いたいとひたすら願うこと  
オ、息子にお金をせがんでいること

ア、無理矢理解決することはできない  
イ、きまつたやり方ではうまく処理できない  
ウ、短い時間では理解できない  
エ、明らかな違いはない  
オ、おろそかにはできない

問六、傍線部Fとはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次のア～オから選び記号で答えなさい。

問三、傍線部Cのカタカナの部分の漢字に直しなさい。

ア、句読点としての機能がひとつにまとめられたと感動した  
イ、句読点を確立しようとした努力の美しさを見たと思われた  
ウ、句読点の用法があいまいなままだと気がついた  
エ、句読点の最も大切な役割はこういうものかと実感させられた  
オ、句読点の表現効果をうまく使いこなしていると感心した

問四、傍線部Dの語の意味について最も適当なものを次のア～オから選び記号で答えなさい。

ア、部屋などから外に出さないこと  
イ、追放すること  
ウ、ひどく罰すること  
エ、言論の自由を奪うこと  
オ、きつくとがめること

二、次の傍線部のカタカナを漢字になおさない。  
(送り仮名が必要な場合もある)

- ① 怪我をしたのでセツコツインへ行く。
- ② 集中チリヨウシツで様子をみる。
- ③ シンパイ蘇生を行う。
- ④ 頭痛がするので医師のシンサツをうける
- ⑤ 入院中に看護師のシヨチを受ける

三、次の傍線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 熱のせい、背筋に悪寒が走る。
- ② 兄の風邪は治癒したようだ。
- ③ 彼女はアレルギー性の疾患を持っている。
- ④ 冬山を登る時は凍傷に気をつけましょう。
- ⑤ 久しぶりに走ったので動悸が激しい。

四、次の二字熟語の対義語を書きなさい。

- |      |      |
|------|------|
| ① 前進 | ② 目的 |
| ③ 無償 | ④ 失敗 |
| ⑤ 不満 | ⑥ 縮小 |
| ⑦ 適度 | ⑧ 利点 |

五、次の文を読み、適切な敬語であれば○を、間違いがあれば、その部分を適切な敬語に直しなさい。

- ① こちらのお菓子は、皆さんでいただいでください
- ② 来週の水曜日のご都合はどうですか。
- ③ 今回の会議では、こちらの資料をご持参ください。
- ④ 月曜日は会社におられますか。
- ⑤ コーヒーとお茶、どちらにいたしますか。

六、次の文の傍線部が適切な言葉づかいであれば○を、間違いがあれば、正しい日本語に直しなさい。

- ① これより休憩に入らせていただきます。
- ② この件は、部長に任せるのがよいと思います。
- ③ 嫌いだっただピーマンが食べれるようになりました。
- ④ この仕事の手順は複雑なので、そう簡単には慣れるものではない。
- ⑤ 連日の試合で疲れてしまって、もう投げられない。

七. 次の( ) に体の一部を表す漢字一字を入れて慣用句を完成させなさい。  
また、その慣用句の意味を語群から選び記号で答えなさい。

① 後ろ ( ) を引かれる

② ( ) に汗する

③ ( ) をひそめる

④ ( ) がうまい

⑤ ( ) の荷がおりる

八. 例を参考にして、①～②のそれぞれの語句を用いて、語句の意味がよくわかるような、主語・述語が入った短い文を作成しなさい。

【例】「目の敵」

一郎君は、なぜか太郎君から目の敵にされている。

① 「四苦八苦」

② 「必ずしも」

③ 「手に余る」

【語群】

ア、汗を流してせつせと働く。一生懸命に働く。

イ、一方の見方をする。ひいきをする。

ウ、ごまかしたり、だましたりするのがうまいこと。

エ、心残りだったり未練があつたりするという意味の表現。

オ、心配ごとがあるさま、また、不快なさま。

カ、責任や負担がなくなり気が楽になる。

キ、よいものを見分ける能力がある。

## 小論文

以下のテーマから1つを選び、自分の体験談を交えながら論じなさい。(800字以内)

- 1 「私と家族」
- 2 「座右の銘」
- 3 「好きなことと嫌いなこと」